



九州産業大学付属 九州高等学校 新聞

第115号
平成29年11月1日

卓然自立

TOPICS

- ・校長挨拶・散歩道……………1
- ・体育祭……………2
- ・その他の行事……………3
- ・CLUB NEWS……………4

発行 九州産業大学付属九州高等学校

福岡市東区香椎駅東2丁目22番1号
TEL (092) 681-0461 代
FAX (092) 671-4240
URL <http://www.kyushu-h.jp/>



今学期を振り返って



校長
武田 寿一

今年度は天候に恵まれ、始業式から当日まで予定をまったく変更することなく、練習と準備が順調に進められ、あらゆる点で最高のコンディションのもと体育祭が行われました。今年度の統一テーマは「飛躍」。生徒主体のイベントとして、その立案から準備・運営まですべてが生徒の手で行われ、大成功裏に終了。「創立から50周年を経た九州高校が、ついにここまで飛躍・進化することができたのか」と、校長として大変感慨深いものがありました。6月と9月の2つの学校行事で、建学の精神「卓然自立」を見事に体現した生徒の「飛躍」する姿に、創立者中村治四郎先生もお喜びのことと思います。また、大変多くの保護者の皆様にご来校頂き、生徒達の精一杯躍動する姿に大きなご声援を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。

その後に行われました受験生対象のオープンスクールでも、後輩を迎えようという生徒の熱意と自主性が発揮され、中学生とその保護者に好印象を与えました。このような点にも、生徒の「自分達の学校を大切にしよう」という気持ちと行動が感じられ、大変嬉しいことでした。

部活動の活躍も大いに注目されます。男子ソフトボール部が県大会で26年連続優勝。陸上競技部、チアリーディング部、水泳部、美術部と並んで、全国大会に出場を決めました。また、吹奏楽部が福岡

県吹奏楽コンクールで金賞を受賞。九州大会に初出場を果たし、銀賞を獲得。空手道部も九州大会で活躍し、他にも県大会に目白押しの出場となりました。ますます躍進する九高生に、さらなる熱い声援をお送り頂きますよう、お願い申し上げます。

実施を予定されていた韓国修学旅行につきましては、国際情勢を考慮して今年度の実施を取り止め、国内旅行に変更になりました。2年生は11月初旬より、普通科が「東北・北海道」「東京・神奈川」、スーパー特進クラスが「ロンドン語学研修」「デザイン科が「パリ美術研修」へと、それぞれの目的を掲げ修学旅行に出かけます。国内・国外とも、その模様がHPに逐次掲載される予定です。是非ご覧下さい。

3年生は卒業後の進路決定に向かって努力の毎日です。近年、センター試験の受験者に加え、国公立大や地元有力私大のみならず、関東・関西の大学への志願者も増加しています。今年度より、九産大の学部改編にとともに、付属校推薦及び自己推薦(AO)入試の方式が変わり、その対応を巡って生徒自身はもちろんのこと、学校全体の指導体制を強化。その取り組みもいっそう真剣みを増したものになっています。今後、推薦入試の合格を皮切りに、朗報が続々と届くことでしよう。

絶えず変化し成長し続ける生徒達に、最善の指導とサポートをするため、教職員一同、日々の教育活動に一致団結し邁進する所存です。保護者の皆様には、本校の教育方針及び教育活動を十分ご理解の上、ご指導ご鞭撻の程、重ねてよろしくお願い申し上げます。

はなの散歩道

毎年恒例の「保健行事」について職員室でこんな会話が合った。「この頃、尿検査の時の緊張感が違う気がしますね」「そういえばそうだね」「以前は検査の提出に予備日が一日しかなかったけど、今はさらに別の日が設けられてますから」「そういう意味では、この頃は「大きな保健室」になっているのかなあ……」◇ここで解説が要る。政府・政治の形態について、「大きな政府」「小さな政府」という概念がある。「大きな」とは、国民を守るための施策を広く厚く行うめんどう見のよい政府。一方、「小さな」とは、自由放任主義、すなわち最小限必要な施策のみを行う政府である。◇ベテランの先生は後ほど、自分に問うた。「ところで、将来のための教育として『大きなクラス』と『小さなクラス』では、どちらが望ましいだろうか?」◇教室に足を運んで生徒にたずねた。「現代社会で勉強したる?」「大きな政府」と「小さな政府」って、そのことをクラスに当てはめると、「大きな」と「小さな」のでは、どちらの方が君たちにとっていいのかなあ?」「うーん。なかなか難しい問題ですね」「目先のことで、将来を見据えてかというところで、すからねえ」◇するとここで、この会話を聞きかじった別の生徒が、口をはさんだ。「そういうえば、隣のクラスの○×先生は『大きな担任』です。身長も高いし、体重も○×キロ以上あるでしょ?」◇ここで一斉にこんな突っ込みがあった。「いや。そういう問題ではなくて……」

平成29年度

体育祭開催



平成29年度の体育祭は、9月2日(土)に行われました。

毎年、夏の厳しい暑さの残る中での練習期間となるため、今年は新たに、生徒の座るスタンドにミストを設置するなど、暑さ対策なども改善しながらの体育祭練習でした。

当日は太陽にも負けない力強い声援がグラウンドに響き渡り、輝くような笑顔が弾けました。生徒達は全力で競技に挑み、生き生きとした姿を見せてくれました。



29年度ポスターデザイン

2年 松島 功典

(春日東中出身)

ブロック別

バックパネルデザイン



優勝ブロック
3年 宮原 幹
(大野中出身)

黄ブロックは他のブロックの応援団員と同様に、夏休みから演舞やダンスを考え、練習にはげみ、体育祭に向けてチームとしての意識を高めていきました。今年は幸いにも晴天が続く、体育祭の練習の多くを野外で行うことができました。それが、パネル応援のパフォーマンスやダンスを息の合ったものにしてくれたと思います。

上手くない時もありましたが、皆さんが協力し支えてくれたおかげで総合優勝できました。最高の体育祭がありがとうございました。



生徒会長
3年 境 貴仁
(福教大附福岡中出身)

「飛躍」をテーマとし臨んだ体育祭。生徒主体の行事を実現するために、多くの生徒の協力が必要となりました。生徒が生徒に指示をし動かす。先が見えず、不安も多くあり、思い通りにいかなかった時は、焦りを感じる場面もありましたが、それでも最後までやりとげることができたのは生徒一人ひとりの意識が少しずつ変わっていったからです。

皆さんのおかげで最高の体育祭にすることができました。自分の話に耳をかたむけてくれたみんな、自分を支えてくださった先生方、本当にありがとうございました。そして、ブロック長、応援団、団員、生徒会、生徒執行部そして九高生のみんな、おつかれ様でした。感謝の気持ちでいっぱいです。



キャリアデザイン

6/13

「将来、何をして生きていくか」「何が自分にとって幸せなのか」このようなことを考えることが、進路選択のスタートラインではないでしょうか。本校では毎年、自分の進路Ⅱ「生き方」について考える「キャリアデザイン」という進路行事を行っています。今回は1年生を対象に、京都造形芸術大学の吉田大作先生をお招きして、「キャリア講演」を行いました。気持ち前向きになる先生のお話を聞き、生徒はたくさん刺激と示唆を受けたようです。講演後「部活動と勉強をどう両立していけばいいか?」「やる気を維持するにはどうしたらよいか?」等、身近で具体的な質問も出ました。



アカデミックキャンプ

7/14~17

1学期の終業式を終えた後、スーパー特進クラス145名は、阿蘇で行われる3泊4日の「アカデミックキャンプ」へと出発しました。S特が設立されて3年目、初めて全年揃った合宿です。

初日は1・2年生の「英語・日本語デベート大会」に始まり、3年生によるロンドン語学研修の体験談を聞く「ロンドントーク」で大盛り上がり。3年生が1年生に苦手科目を教える「チュートリアル」等、学年の垣根を越えた交流を深めました。

美術交流会

7/27~8/1

7月27日から8月1日までの土日をのぞく4日間、造形芸術科の「美術交流会」が行われました。

Qコムのホールにて説明を行った後、7講座に分かれて約2時間の「実技体験」を実施。オープンスクール

が中学3年生対象であるのに対し、この美術交流会は1・2年生も参加できるように企画されたものです。

当日は、中学校の美術部の生徒が多数参加し、本校の美術部・写真部・漫画研究部・モダンアート部の生徒が実技指導を担当しました。体



2年生の実行委員を中心に、生徒が中心となって行ったアカデミックキャンプの企画・運営。



験中の雰囲気は、明るく和気あいあいとしており、リピーターとなる中学生も少なくないようです。実技指導を担当した在校生からも「とても有意義で楽しい時間が過ごせた」という感想を聞く事が出来ました。デザイン科改め「造形芸術科」としての初年度、設立50周年から「次の50年」に向けてさらに発展できるよう、これからも様々な活動を続けて参ります。

スピーチコンテスト

8/18

Qコムにて1・2年生スーパー特進クラス・特進クラスによる「英語スピーチコンテスト」が開催されました。1年生は予め与えられた英文の題材から選んで暗誦大会を実施。2年生は、自分でテーマを設定し、プレゼンシートを用いて英語スピーチを行いました。予選を勝ち抜いた生徒が、さらに練習を重ね臨んだこの大会。会場には熱意と緊張感が漂い、2年生のスピーチでは賛嘆と感動のため息がもれるなど、日頃の授業だけでは味わえない、有意義かつ貴重な「学びの場」となりました。



夏の学校説明会

8/26

初の試みとして中学生とその保護者対象の「夏の学校説明会」が、Qコムにて行われました。「大学の入学試験の変化とその対応」「本校が望む中学生像」「九州高校の教育」などの説明の後、校内の自由見学をして頂きました。



CLUB NEWS!!

2017夏
(平成29年9月15日現在)

男子ソフトボール部

全国高等学校総合体育大会出場

8月上旬に開催された高校総体「繋がる絆 魅せよう僕らの若き力」はばたけ世界へ南東北総体2017」に出場しました。これで高校総体は、創部以来26年連続26回目の出場です。初戦は全国優勝の実績がある日本文理高校(新潟県)と対戦し、10対0(5回コールド)で快勝。第2次抽選後、第3回戦は一昨年準優勝の強豪校である千葉敬愛高校(千葉県)との試合に9対6で勝利。続く準々決勝では啓新高校(福井県)と対戦し、4回まで0対0の投手戦、緊迫したゲーム展開になりました。5回、本校の守備の乱れからノーアウト満塁のピンチを迎え、相手の4番打者を3年のエース橋垣宏樹(志免中出身)が気迫の投球で三振に打ち取りました。しかし、続く5番打者にストライクゾーンに甘く入った球を打たれ、走者一掃の満塁打となり一気に4失点。その後、本校も必死に反撃しましたが惜しくも敗退となり、一球の大切さを思い知らされた大会となりました。この経験を教訓として活かし、更に練習を重ね、全国制覇の目標達成に向けて精進して参ります。いつも多くのご支援・ご協力を頂き、監督・選手一同、心より深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



吹奏楽部

第62回九州吹奏楽コンクール出場

念願の九州大会に初出場することができました。7月28日に行われた福岡支部予選では、3年連続金賞受賞ならびに2年ぶりの県大会出場団体に選ばれました。県大会から九州大会へ出場するのは、福岡県で8校しか枠はありませんが、8月5日に開催された県大会においても金賞をいただき、福岡県代表として初の九州大会への切符を手にすることができました。皆さんの応援、本当にありがとうございました。これからもたくさんさんの応援を頂けるような吹奏楽部を目指して、日々練習に励んでいきます。今後とも宜しくお願い致します。



水泳部

全国高等学校総合体育大会出場

8月17日から20日にかけて、高校総体が開催され、本校からは個人・リレー合わせて25種目に出場しました。男子200M背泳ぎにおいて、3年金川遼祐(鞍手南中出身)が予選でベスト記録を更新し決勝進出を決め、決勝では7位入賞。また、400Mフリースタイル【3年濱野綾人(山口竜王中出身)、永野泰紀(岡垣東中出身)、金川遼祐、塩田駿(友泉中出身)】において、予選でチームベストを更新し決勝進出を決め、決勝では8位入賞。さらにこの400Mフリースタイルの記録は福岡県高校新記録を樹立しました。これらの結果は、3年生を中心にどんなときも前向きに練習に取り組んできた成果だ、と感じました。今後も、優勝・入賞を目指して頑張ります。

美術部

全国高等学校総合文化祭出場

3年 古野 琴絵(直方第2中出身)

8月1日、2日に宮城県で行われた、第41回全国高等学校総合文化祭に美術・工芸部門で出場しました。私は今回、タイポグラフィという文字を主に扱ったデザインに挑戦しました。自分や時間との戦いの中で一生懸命に向き合った作品だったので、実際に会場に展示されている様子を見ると感慨深いものがありました。全国から集まった、沢山のレベルの高い作品を鑑賞することはもちろん、制作者から実際に話を聞くことができ、作品の意図や技法・構図

て参ります。ご声援ありがとうございました。

陸上競技部

全国高等学校総合体育大会出場

7月29日より、山形県のNDソフトスタジアム山形で高校総体が行われ、1年生の伊藤芽彩(志免東中出身)が走り幅跳び、3年生の森山梨那(和臼丘中出身)が400mハドルに出場しました。二人とも予選落ちと悔しい結果になりましたが、そこに至るまでの精神力の強さは素晴らしいものでした。今大会で「結果を出す厳しさ」を痛感し、この悔しさを1年生の伊藤は来年度以降のインターハイで、3年生の森山は今後の進路実現で生かしてほしいと思います。ご声援ありがとうございました。

など大変勉強になりました。今回の経験を生かし、今後の活動をより一層頑張りたいと思います。

